

文部科学省 共同利用・共同研究システム形成事業「学際領域展開ハブ形成プログラム」（宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結ぶ超学際ネットワーク形成） 研究アシスタント（博士後期課程大学院生）募集要項

令和6年度にスタートした文部科学省 共同利用・共同研究システム形成事業「学際領域展開ハブ形成プログラム」（事業名：宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結ぶ超学際ネットワーク形成）では、本プログラムに参加していただける博士後期課程の大学院生を募集します。参加学生は研究アシスタントとして、本プログラムの中核機関である名古屋大学宇宙地球環境研究所（ISEE）、5つの参加機関（国立歴史民俗博物館、山形大学高感度加速器質量分析センター、九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設、名古屋大学デジタル人文社会科学推進センター）、または関連するその他の機関の研究室にて就業し、雇用時間に応じて給与が支払われます。また、本プログラムの超学際ネットワーク形成のため、主たる就業場所とは異なる ISEE または 5 つの参画機関に、合計雇用時間の 1 割程度滞在し、共同研究に参画していただきます。そのために必要な旅費は支給いたします。

【本プログラムの趣旨】

本プログラムは ISEE を中核機関として、5 つの参画機関と連携し、宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を融合する超学際ネットワークの創成を目指します。これを通して、激甚太陽嵐の現代文明への影響の評価や新しい正確な年代決定による歴史学・考古学の新展開をはかり、宇宙に拡大する持続的な発展型社会の形成に貢献します。全国の博士後期課程の大学院生が本プログラムに参加し、宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結びつける超学際的な融合研究を行うことで、文系・理系双方の幅広い視野を持つ研究者・技術者を育成し、この分野の中長期的な発展に寄与します。さらに、本プログラムの文理融合研究を促進するため、採用された者は、関連するワークショップ等に積極的に参加していただきます。

【出願資格】

下記のいずれかの条件を満たす者

1. ISEE、5 つの参画機関、または関連するその他の機関の研究室にすでに在籍している、博士後期課程の大学院生
2. ISEE、5 つの参画機関、または関連するその他の機関の研究室に 2025 年 4 月に入学予定の者（入学時までには修士課程を修了見込みの大学院生、またはすでに修了している者）

※総合研究大学院大学など 5 年一貫制の博士課程に在籍している大学院生の場合は、D3～D5 の学年を博士後期課程と見なします。

※入学予定の者が博士後期課程の入学試験に合格しなかった場合、本プログラムの選抜合格は無効となります。

【出願にあたっての留意事項】

1. すでに他の機関等から奨学金・リサーチアシスタント経費等を受給している学生は支援の対象外となることがあります。現在すでに受給している者、または期間中に受給予定がある者は、その奨学金・リサーチアシスタント経費等の種類/名称と当該年度の支給予定額を出願書類に明記してください。
2. 本プログラムに採用されている者が同様の奨学金やリサーチアシスタント経費を他の機関等から得た場合、本プログラムの雇用を終了することがあります。
3. 事前に指導教員及び研究アシスタント雇用を担当する予定の教員と研究課題等について十分に相談し、承諾を得た上で、当該学生からではなく、研究アシスタント雇用を担当する予定の教員から出願を行ってください。

【募集人数】 若干名

【職務内容】

1. 本プログラムに関連する宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結びつける超学際的な融合研究に関する業務。
2. 変更範囲 本プログラムに関連する研究業務

【就業場所】

1. 主たる就業場所は ISEE が指定する場所（ISEE、5つの参画機関、または関連するその他の機関の研究室）とします。ただし、主たる就業場所とは異なる ISEE または 5つの参画機関に合計雇用時間の1割程度滞在し、共同研究を遂行することとします。
2. 変更範囲 東海国立大学機構が指定する就業場所

【雇用期間】 2025年4月1日～2026年3月31日

本プログラムへの貢献度、勤務態度、責任感、協調性などの評価に基づき、2026年4月以降も、博士後期課程最終年度まで契約更新される可能性があります。ただし、雇用契約は年度毎とし、最大2029年3月31日までとします。

【雇用時間数】 週19時間以内。（勤務時間は別途相談の上、決定）

※時間外労働無し

休憩時間：12時～13時

休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

休暇：年次有給休暇、忌引き休暇等の特別休暇など

【給 与】 時給 2,116円

【加入保険】 労災保険

【受動喫煙措置】 原則としてキャンパス内は喫煙禁止

【出願手続】

下記の出願書類一式（自由形式）を、PDF ファイルの形式で transeha-jimu[at]nendai.nagoya-u.ac.jp（超学際ネットワーク形成推進室事務）に「学際ハブ研究アシスタント募集」という件名のメールで、当該学生の研究アシスタント雇用を担当する予定の教員から提出すること。検定料は不要。

1. 研究アシスタント雇用を担当する予定の教員の氏名、所属、連絡先（電話、メールアドレス）

以下、当該学生について：

2. 履歴書
3. 発表実績・受賞歴
4. 研究計画書：A4 用紙 2 ページ程度（本プログラムの趣旨の理解とその貢献への期待度を審査します。）
5. これまでの研究の概要：A4 用紙 1 ページ程度
6. 現在の指導教員又は所属していた大学の学部長の推薦書
7. 他の機関等から奨学金・リサーチアシスタント経費等を受給している、あるいは受給の予定がある場合は、その種類/名称と当該年度の支給予定額
8. 就業機関の受入内定書類（当該学生の所属機関と就業先機関が異なる場合のみ）
9. 類型該当性の自己申告書（名古屋大学に所属していない場合のみ。詳細及び様式については「その他」項参照）

【出願受付期間】

出願書類は、定員に達するまで受け付けます。受け取り後、受領確認メールを送信します。確認メールが届かない場合は、transeha-jimu[at]nendai.nagoya-u.ac.jp/電話：052-789-3082 に連絡してください。

【選考方法】

出願書類をもとに事前審査を行い、書類審査合格者に対してオンラインで面接選考を行う予定にしています。面接選考を行う者に対しては、後日、別途案内いたします。

【合格者発表】

1ヶ月程度以内に、電子メールにて研究アシスタント雇用を担当する予定教員宛に通知します。

【問合せ先】

名古屋大学宇宙地球環境研究所：南 雅代、三宅 美沙、早川 尚志、三好 由純
E-mail: minami[at]nendai.nagoya-u.ac.jp、fmiyake[at]isee.nagoya-u.ac.jp、hisashihykw[at]gmail.com、miyoshi[at]isee.nagoya-u.ac.jp

国立歴史民俗博物館：坂本 稔
E-mail: sakamoto[at]rekihaku.ac.jp

山形大学高感度加速器質量分析センター：門叶冬樹
E-mail: tokanai[at]sci.kj.yamagata-u.ac.jp

九州大学アジア埋蔵文化財研究センター：大野正夫
E-mail: mohno[at]scs.kyushu-u.ac.jp

情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設：門倉 昭
E-mail: kadokura[at]nipr.ac.jp

名古屋大学 デジタル人文社会科学研究推進センター：川本悠紀子
E-mail: kawamoto.yukiko.u3[at]f.mail.nagoya-u.ac.jp

【その他】

1) 本募集は東海国立大学機構パートタイム勤務職員としての雇用となります。

2) 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。名古屋大学以外に所属する方は以下から自己申告書様式をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出ください。

<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/SngAFPWp52NCyB>

また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。

3) 個人情報の取り扱いについて

研究アシスタント雇用された学生の氏名・所属等は、広報活動のため、Web サイトや印刷物に掲載されることがあります。出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「審査」、「合格者発表」などの業務及び本プログラムに関する業務を行うために利用します。選抜に用いた個人情報は、選抜結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために利用します。

募集者

国立大学法人東海国立大学機構